

野田小学校だより 第23号

南風の丘から

進んで学び 思いやりのある たくましい子を育てる

校長 雪野正三



持久走大会が終わって間もないのですが、冬場の健康の維持増進と体力UPのため、全校で縄とび運動を始めました。2月まで続けて、最後は、「なわとび大会」で締めくくります。

なわとび運動 はじめました

縄とび運動の健康効果として、次の三つがよく挙げられます。

- 1 心肺持久力の向上
- 2 足腰の筋肉強化・筋肉量増加
- 3 骨への刺激で骨の強化

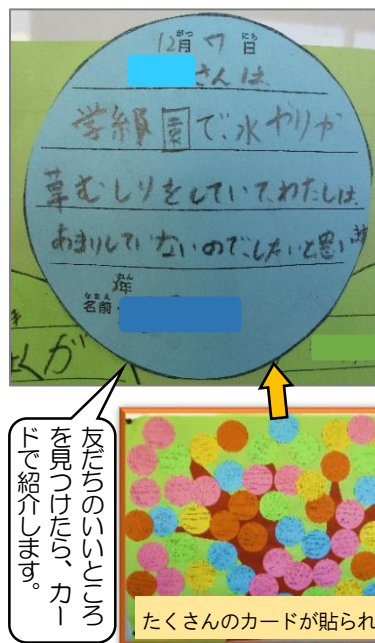


「縄とびは、小学生以来やってないなあ。」という保護者の方がほとんどでしょう。お子さんと一緒に楽しみながら、縄とび運動をされてみては。けっこきつい運動です。

野田小 人権学習

学級通信などをご存知ですね。11月21日～12月10日までを、「人権学習期間」とし、思いやりの心を育て、友だちの良さに気づく学習や取組を行ってきました。

取組の中の一つの「友だちの実の木」を紹介します。



ある学級の「友だちの実の木」のカードに、「〇〇さんは学級園で水やりや草むしりをしていて、わたしはあまりしていませんのでしたいと思います。」と書かれています。自分と比較して、友だちの良さに気づいています。影響を受けて「わたしもしななきゃ。」と変化の兆しがかがえます。紹介された本人はどうでしょう。カードを読んで喜び、自分がしていることの確かさを感じ、自信をもつことでしょうか。育て、友だちの良さを見つめる心の目。

心痛む 不適切指導のニュース

「宙づり」「脅し」「頭をたたく」等々。静岡県裾野市の保育園で行われた園児への不適切な指導について、大きく報道されています。大変驚いています。幼い園児に対して、いくらか手がかかる行動があったとしても…と、同情することはできません。園児を力任せに思いどおりにしようというのは、力量不足であったと言わざるを得ないでしょう。残念です。

一方で、人材不足やハードな仕事内容という現状の中で、やりがいをもって、献身的に働かれている保育士さんが確かにいらっしやることを忘れてはいけません。

野田小の歴史 「木造校舎」

56年前に、鉄筋コンクリート校舎に建て変わったと前号でお伝えしました。では、建替え以前の木造校舎はというと…。加津佐図書館の蔵書に全景写真が掲載されているのが見つかりましたので紹介します。おわかりのとおり、校舎と運動場の位置が、今とは正反対です。



加津佐町の古い写真集より